

神社庁総会



7月23日、熱田神宮会館において県内神職・総代250名が出席して恒例の神社庁総会が開催された。

熱田神宮御垣内参拝に続き、名古屋緑南支部員の奉仕により物故神職慰霊祭が斎行された。続いて神職功労者として春日部支部加藤剛之氏を始め11名が表彰された。

次いで本庁幣伝達が行われ、小串和夫庁長より、県内3地区を代表して千種・一宮・蒲郡の3支部に本庁幣が手渡された。

次いで総会に移り、神宮遥拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和の後、小串庁長より「まずは先日亡くなりました三笠宮寛仁親王殿下と神社本庁総裁で神宮祭主であります池田厚子様のご主人様に対しまして、皆様方と共に哀悼の誠を捧げたいと思います。本年は明治天皇が崩御されまして百年という節目の年にあたります。県内各お社でも、奉告祭が執り行われる所がありますが、先日明治神宮での百年祭に先立ち天皇皇后両陛下のご参拝があり、私共もお迎えとお見送りをいたしました。陛下は大手術後という事で心配をいたしておりましたが、大変お元気にお見受けいたし、ほっといたしますとともに、皇室をいただいている良い国柄に生かされているという喜びを感じるひと時でありました。お伊勢様の事につきましては、明年のお白石持行事については、県内で多数の参加希望が有り、準備が進んでいる所であります。皆様方とともに、明年の遷宮諸行事が麗しく厳肅に滞りなく行われますことをお祈りいたしております」と挨拶。

続いて議事に移り、庁長を議長に議事が進行した。